

## 1 本年度の重点目標

<p>目標に向かって心豊かで、たくましく、主体的に行動できる生徒の育成を目指す。</p> <p>(1) 進んで学習に取り組む意欲・態度を培い、社会で生きる実践力を高める。</p> <p>(2) 挨拶の励行や生活習慣の改善を促し、自己をコントロールできる力を高める。</p> <p>(3) 進路に係る情報を進んで求める姿勢及び目標を定め、粘り強く挑戦する姿勢を育む。</p>
--

## 2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

## 【教育活動に関する評価】

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導	<p>○本校の学習指導において、学習習慣の定着をどう促すかが最大の課題であると考えているが、効果的な改善方策は見つかっていないのが現状である。学年または教員個々に指導に邁進しているところではあるが、いずれの方法においても学習習慣の定着にはいたっていないようである。</p> <p>○教務としては、授業改善に向けて授業公開週間を設定するなど取り組んでいるところではあるが、教員全体の機運があがっているとはいえない状況である。</p>	<p>学力向上に向けて、学年団や教科担任が、日々の授業やHR活動の中で、週末課題、朝学習、宿題等工夫をしながら取り組んでいることがうかがえる。家庭学習習慣定着へ向けて、効果が得られたとはいえないが、粘り強く指導をして欲しい。また、生徒自らが社会に出て行くために学習習慣が必要であることを強く意識させるとともに何のために学習するのかを自問自答する時間を持たせる必要もある。さらに高校生が幼稚化する流れの中で、幼少期からの生活習慣も大きく影響しているだろう。</p>
改善方策	<p>◇学習習慣の定着に向けては効果的な改善方策は見つからないが、今後も継続してその方策を模索していく。</p> <p>◇授業公開週間について、実施する期間を延ばしたり、重点化するポイントをはっきりさせて行ったりするなどし、効果的な取り組みとなるよう検討する。</p>	
生徒指導	<p>○行事等における生徒間のトラブル対応では、養護教諭やHR担任等と情報共有を行い、早期の対応をすることができたが、教員の全体的な連携や能力・資質の向上には改善の余地がある。</p> <p>○生徒の自主性・主体性の向上のため、行事の振興・外部との連携につとめた。</p>	<p>多様な生徒に対応するために、教育相談体制を充実させることが引き続き重要事項として捉える必要がある。スマートフォンの普及により情報の取捨選択等の活用能力が必要である。また情報を発信する際は誤って捉えられた情報が一人歩きしないよう正確な情報把握をうながすことが必要である。さらにSNS等のマナー、モラル指導は非常に重要な要素であり、生活習慣や学習習慣にも大きな影響を与えているので継続した指導が必要である。</p>
改善方策	<p>◇昨年度に引き続き生徒の情報共有・共通理解のための連携を取るための方策を整理・精査する。</p> <p>◇生徒の問題行動の早期発見・早期対応のために教員個々の教育相談スキルを高めるとともに、外部諸機関との連携も視野に教育相談体制の改善に取り組む。</p> <p>◇生徒指導事故や生徒間トラブルの未然防止に向けた取組を模索していく。</p> <p>◇基本的な生活習慣や社会のルールの指導のため、教員の能力・資質向上の機会を増やしていく。</p>	
進路指導	<p>○校内研修を通じて上級学校に対する情報の共有を図っていたが、生徒の多様な進路の状況を鑑みて、引き続き情報の共有と生徒への還元をして行く必要がある。</p> <p>○昨年度に引き続き、キャリア教育を実施するにあたって町内企業や外部機関との協力によって進めることができた。</p>	<p>民間就職、公務員就職、専門学校、大学と、幅広い進路指導に対して適切な指導を行っていることが伺われるとともに求められる成果をあげている。地元企業の説明会や進学層段階などの多くの機会をもつことや、教員の研修等今後も継続して欲しい。他市町村の取り組みを参考にしたりするなどして、町をあげた取り組みとして、活性化していくことを望みます。</p>
改善方策	<p>◇校内研修の機会や内容を充実させて教員間の情報の共有を図るとともに、それらを生徒に還元させていく。</p> <p>◇今年度実施の状況を踏まえつつ、次年度も町内の企業や外部機関と協力しながらキャリア教育を実施していく。</p>	
健康・安全指導	<p>○自己管理能力の育成や自分の言葉で体調を伝えられるようにするなど継続した指導が必要である。</p> <p>○個人面談等、保健指導の充実を図ることができた。担任や保護者、外部機関との情報共有を行うことができた。</p> <p>○校内の使用は多少の破損があった。軽微なものに関しては修繕できたが、未修繕の場所もある。</p>	<p>自己の健康管理意識を高める指導を継続してもらいたい。また、心の不調が他に与える影響が大きいので、養護教諭の役割は非常に大きいと考える。先生方が生徒変化を見逃さないようしっかりと観察して欲しい。</p>
改善方策	<p>◇次年度も継続し、医療機関や教職員と連携して、円滑な実施をしていく。各学校行事においては、健康調査をもとに保護者と連携して事故や病気の予防、迅速な対応ができるようにする。</p> <p>◇引き続き全校生徒面談を継続すると共に、保健室にて得た情報を共有し組織的に対応していく。生徒にとってより良い相談体制作りを模索していく。教員の教育相談スキルの向上に向けた研修等を取り入れていく。</p> <p>◇保健専門委員会を中心とした環境美化活動を全校生徒へ広げて行く。</p>	

【学校運営に関する評価】

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
信頼される学校づくり	<p>○2間口維持に向けて、取り組んで来たが、思うような結果が得られなかった。</p> <p>○中高懇話会、授業公開週間、1日体験入学での模擬授業など、職員の協働体制のもと取り組むことができたが、中高の連携、交流という点で課題が残る。</p> <p>○地元関係者との協力のもと、教育資源を活かした、体験型授業を実施し、効果をあげることができた。また地元企業との連携のもと校内企業説明会を充実させた。</p> <p>○職員の共通認識、協働体制の構築に課題が残った。</p>	<p>地域との連携強化や地域の教育資源を活用した体験活動は今後も継続して欲しい。中学校との連携をより強く持つために、取り組み内容を工夫してはどうか。部活動の連携も一つのアイデアか。保護者と共に町と共にみんなで力を合わせ、協働体制をより強化し、地域に信頼される学校づくりに励んでもらいたい。</p>
改善方策	<p>◇次年度もHPの適宜更新や各種報道機関を効果的に利用し、PR活動を強化していく。また、今年度より導入したメール配信システムを緊急連絡のみならず、保護者への広報手段としての効果的に活用する。</p> <p>◇授業公開や研修会を通じて、小中高との積極的な交流をし、生徒の実態把握や授業改善に役立てる。また、1日体験入学の日時を変更し中学生にPRする。</p> <p>◇風通しの良い職場に向けての雰囲気づくりと職員間の報告・連絡・相談、さらに調整・確認の確立を進め、協働体制による教育活動の推進を行う。</p>	
組織運営	<p>○学校経営計シラバスの重点目標を、それぞれが強く意識し、教育活動の組織的な推進と、より具体的な目標を掲げ、実践・評価・改善の確立に向けた、意識の統一を図る必要がある。</p> <p>○教育活動の即時反省、課題の重点化を行い業務の効率化を図っているが、いたらないところが多い。再度業務の効率化等について検討していく必要がある。</p>	<p>年齢も、経験年数も若い先生方が多い中で、熱心に取り組んでいることがうかがえる。自己評価が低い傾向にみえるが、自信を持ってとりくみ、積極性を持って浜高のために頑張っていたいただきたい。</p>
改善方策	<p>◇全教職員が学校経営シラバスの重点をより強く意識し、より具体的な実践項目を計画、立案し、分掌・学年経営に反映させ、達成に向けたPDCAサイクルを活用し、教育活動に反映させる。</p> <p>◇3S（スピード・ショート・スマイル）を合い言葉に、業務の効率化や時間外勤務縮減を図る。前年度踏襲にとらわれず、新たな発想やアイデア等を活用し実践をめざす。</p> <p>◇効率化に向けた複数体制での業務推進に向けて一層の取り組みを行う。</p>	
教職員の資質向上	<p>○学習の基盤となる資質・能力や課題解決能力育成のため、「目指す生徒像」についての研修会を行い、カリキュラムマネジメントの視点にたった教育課程に基づく教育の質の向上を目指す基盤づくりを行った。</p> <p>○教職員全体に、常に事故や事件と隣り合わせにあるという認識を持つよう情報を共有した。事例研修などを通して、危機管理意識の向上を図る必要がある。</p> <p>○学習指導や生徒指導・分掌業務等について、教員間で意見交換や、助言、支援、出来る協働体制をより強くする必要はある。</p>	<p>学習指導や生徒指導・進路指導の改善充実に向けて引き続き指導に尽力してもらいたい。また、他校の取り組みを学ぶなど、先生方が積極的に研修に参加し、資質向上に向けて努力してもらいたい。ICT技術等のスキルを十分に身につけて、生徒への指導を行ってもらいたい。</p>
改善方策	<p>◇新しい取組、他校の実践例等も積極的に情報収集し、研修会の場を設け、教育課程に基づく質の向上を目指していく。</p> <p>◇授業公開の機会を増やし、参観しやすい校内体制を構築して、授業改善に向けた相互の交流の機会を増やす。</p> <p>◇社会や生徒の変化に応じた危機管理に対する校内研修や危機を想定した訓練等を積極的に行い、課題を踏まえ、危機管理体制・能力の向上を図る。</p> <p>◇同僚性を向上させ、話しやすい雰囲気の中で「聞く、考える、対話する、気づく」ことを目指し、日常実践の改善に努め。</p>	
公表方法	学校ホームページ・学校だよりにおいて公表	